



三股町議会だより



三股町議会ホームページ

# みまた @ ぎかい

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

## 祝 3連覇!!

がんばれ!! 三股

Vol. 118

2025.2.15  
三股町議会発行

PHOTO: 第15回 宮崎県市町村対抗駅伝競走大会町村の部 10度目の優勝

三股町議会 第8回(令和6年12月)定例会報告…P2~P3

台風10号・豪雨(6月)災害に2億9千万円

そこが聞きたい!!!…P4~P11

裏表紙

一般質問… 8名

どうする? 議員のなり手不足!



花と緑と水のまち  
宮崎県 三股町

# 台風10号・豪雨 (6月) 災害に2億9千万円

12月定例会を12月2日から16日までの15日間開催しました。令和6年度一般会計補正予算(第7号)をはじめとする補正予算が8議案、条例改正が5議案、町体育館の改修工事の変更契約1議案、あわせて14議案が上程され、すべて全会一致で可決されました。

一般会計補正予算(第7号)においては、6月の豪雨と8月の台風10号による農業用施設の災害復旧工事が主なものでした。

また、議会最終日には議会の特別議決が採択されました。今回は、これらの主な内容についてお知らせします。

## ①6月豪雨災害復旧工事

水路

約70メートルにわたり、福留用水路のトンネルが陥落、復旧工事の約1億4462万円。



▲福留水路トンネル陥没

農地

赤松の農地200㎡の普及工事に約200万円。



▲赤池農地

## ②台風10号災害復旧工事

水路

再度、約150メートルにわたり福留用水路の水路橋が崩落し、復旧工事に約8,860万円。



▲福留水路橋下流部再被災

農地

陣ノ尾、温川の農地1400㎡の復旧工事に約400万円。



▲陣ノ尾農地

▲温川農地

## ③台風10号小災害復旧工事

※小災害とは工事費40万円未満のもの  
栗山の農地ほか3筆及び大谷の水路の復旧工事に約170万円。



▲栗山農地

▲高畑農地



▲車場農地

▲辻原農地

▲大谷水路

## 文教厚生常任委員会 現地調査報告

12月10日(火)、文教厚生常任委員会で「令和6年度畑地帯総合整備事業(高才第3地区)」に伴う方境遺跡発掘調査の現場を視察しました。

弥生時代後期～古墳時代にかけての住居跡や様々な土器が発掘されたそうです。住居跡は、三股町としては初めてとなる「花弁形竪穴建物」の跡である説明を受けました。それらを実際に視察し、委員一同深い感動を覚えました。

私たちは、こうした遺跡を通じて先人の暮らしや知恵を学びながら、郷土への愛着を深めていく事が大切ではないかと感じたところです。



▲方境遺跡発掘調査(高才第3地区)

## 議会・議員活動の豊富化、議員報酬の適正化に関する特別決議

12月16日、議会最終日、議会運営委員長が提案者となり、標記特別決議が提出され、全会一致で可決されました。

そして12月20日に議長・副議長がこの決議を町長に提出し、理解を求めました。

この特別決議の趣旨をお知らせします。



(趣旨)

- ・町村議会議員の活動は増加しているが、その議員報酬の水準は30年以上変化がない。
- ・都道府県議会議員と市議会議員と比べ著しく低い水準である。
- ・町村議会議員のなり手不足問題が深刻化している。
- ・全国町村議会議長会及び宮崎県議会議員大会でも同様の決議が採択されている。
- ・町村議会の活動内容を充実し、住民の理解を得て、町長給料月額47%を目指す。
- ・今後、更なる議会改革を進め、議会・議員の活動量の豊富化と議員報酬の適正化に向けて取り組む。

## 選挙管理委員会委員と補充員の選挙を行いました。

議会最終日、令和6年12月21日で任期満了となる選挙管理委員会委員とその補充員の選挙が行われました。この選挙は指名推薦の方法で行われ、全会一致で選任されました。

### ●選挙管理委員会委員

- 竹ノ内 徳夫氏 (再任)
- 前田 孝子氏 (再任)
- 山下 俊一氏 (再任)
- 永徳 政治氏 (新任)

### ●選挙管理委員会委員補充員

- 日高 賀世子氏 (再任)
- 中村 俊郎氏 (新任)
- 近藤 剛康氏 (新任)
- 久保田 栄子氏 (新任)

※指名推薦とは、町から推薦を受けた候補者を投票によらず、当選人として全会一致で承認すること。



**軟骨伝導イヤホンを導入できないか**

一般質問  
「そこが聞きたい!」

(町長)

**A** 他の自治体を確認し検討していく

た なか みつ こ  
**田中 光子議員**

**軟骨伝導イヤホンについて**

**Q** 聞こえにくい人に対する窓口対応で苦慮されていることはどういったことでしょうか。

**A** 町長

①意思疎通がうまく図れない。②内容を正しく伝えることが難しい③多くの時間を必要とする場合がある④大きな声になるなどがあります。

**Q** 聞こえにくい人への対応として、耳に軽く当てるだけで利用できる軟骨伝導イヤホンの導入はできないでしょうか。

**A** 町長

日南市では9月から都市部では10月から導入されているということで、導入自治体の利用状況等を参考にしながら導入の可否について検討をしていきたいと思っております。

**通学路について**

**Q** 合同点検を実施し、対策を進めていると思いますが、現時点の取り組み状況、また車両への交通事故防止のための注意喚起をどのように進めているのでしょうか。

**A** 教育課長

通学路交通安全プログラムにより、毎年1回各学校から危険箇所を提出していただき、関係機関と通学路点検を実施しています。

**A** 総務課長

関係機関と情報共有を図りつつ、運転者に通学路としての意識づけ、注意喚起を促しています。また、回覧・広報による啓発活動を実施しているところです。



西植木、東植木、稗田公民館代表による陳情書が出されてから3年経っても通学路におけるトイレ問題は進展がないようです。公園内のプールのトイレや集会所のトイレ等を使用できないか？他に改善策はあるのでしょうか。

**A** 町長

「こども110番・おたすけハウス」を利用するなど、しっかり対応することが大事だと思います。

**ワクチン接種について**

**Q** インフルエンザワクチン接種で、13歳未満の子どもは2回接種することが推奨されています。6,000円~10,000円ほどの費用がかかりますが、助成はできないでしょうか。

**A** 町民保健課長

必要経費を対象者に2,000円の助成を接種率70%として試算した場合、約1,000万円の費用がかかることから、考えていないところです。

**Q** 子宮頸がん検査時にプラスして、HPV検査単独法を検査助成できないでしょうか。

**A** 町民保健課長

HPV検査単独法を実施するためには、国が示す5つの要件を満たす必要があります。この要件を満たした市町村は導入できますので、30歳から5歳刻みの年齢を対象に導入に向けて関係機関と協議を行っていきたくと考えております。



一般質問  
「そこが聞きたい!」



**WCS判定基準の変更については**

(農業振興課長)

**A** 九州農政局の指導により変更



うち むら たつ よし  
**内村 立吉議員**

**WCS (稲発酵粗飼料) について**

**Q** WCS (稲発酵粗飼料) の判定基準がどのように変わりましたか。また、再調査についてはどうですか。

**A** 農業振興課長

昨年度まで適用した判定基準は、本町独自のもので、今年度から九州農政局の指導によって適正な基準に変更しました。今年度からの判断基準は収量80%以上は合格で80%未満は不合格として扱いました。80%以上と判定されると交付金は満額交付されます。

また、再調査は生育途中であったり、圃場が雑草等に覆われ判定が困難な場合は、改めて調査日を設けて実施しています。

**Q** 令和6年度の作付面積や合格した面積、不合格面積は、どのような結果でしたか。

**A** 農業振興課長

作付面積は約118.8㌦、合格面積は約105.3㌦、合格率は88.6%でした。不合格面積は約13.5㌦で割合は11.4%でした。

**Q** 交付基金基準が変わったことで変化はありましたか。

**A** 農業振興課長

昨年度までの基準では収量予測の判断が難しく、合否判定をする調査員に負担がありましたが、今年度基準に変更したことで軽減されました。判定される耕作農家には、「より徹底した管理が必要である」と意識づけができたと推測しています。

**町内の農用地について**

**Q** 町内の非耕作地(遊休農地)の筆数や面積はどのくらいありますか。また、10㌦以上の非耕作地はどのような状況ですか。

**A** 農業振興課長

令和6年3月までの報告では、非耕作地が29筆23,117㎡です。令和5年度との比較では筆数の増減はなく、面積が2,050㎡増加しています。10㌦以上の場合は6筆12,007㎡で、筆数では1筆増加し面積では2,989㎡増加しています。

**Q** 相続未登録農地の面積と筆数はどのような状況ですか。

**A** 農業振興課長

令和6年11月の調査では相続未登録農地が2,131筆、169.2㌦です。令和5年8月の調査の数値と比較しますと、筆数で325筆、面積で27.8㌦が減少しています。

**Q** 10㌦以上の場合はどのような状況ですか。

**A** 農業振興課長

筆数は473筆、面積は73.6㌦で、相続未登録に占める割合は筆数22%、面積43%です。

**Q** 令和6年4月より相続が義務化されましたが、どのように対応されていますか。

**A** 農業振興課長

農業委員会では、死亡届を提出される該当者に窓口で相続義務化の啓発や周知を行っています。この対応が対象農地の削減に繋がったものと考えます。





Q

崖崩れ事故の慰霊碑  
建立は

一般質問  
「そこが聞きたい!」

(町長)

A 地蔵尊があり考えていない

ほり うち かず よし  
堀内 和義議員

### 勝岡・新坂の崖崩れ事故による慰霊碑の建立について

Q 昭和 44 年 6 月 30 に発生した崖崩れにより、下校途中の三股中 2 年の女子生徒 4 名の尊い命が奪われました。交通安全地蔵尊は建立されていますが、生徒の死を弔う慰霊碑はありません。慰霊碑の建立はできないですか。

A 町長

西日本一帯を襲った豪雨により勝岡新坂の崖崩れの惨事が発生し 4 名の尊い命が奪われました。二度とこのような惨事がないよう願う多くの方々の思いとして、三股町ライオンズクラブと交通安全協会三股支部が町と協力して交通安全地蔵尊を建立しました。

地尊像は、慰霊碑の意味合いを含めて建立されたものでありますので、新たに慰霊碑を建立することは必要ないものと考えられます。



交通安全地蔵尊

Q 事故当時の被害状況等を記した伝承碑の設置はできないですか。

A 町長

自然災害の伝承碑の意義は、災害の状況を記すことにより、教訓を後世に伝えることにありますので、耐久性のある案内板や設置版の設置の方法も含めて検討をすすめて参りたいと考えます。

Q

交通安全地蔵尊に屋根の設置はできないですか。

A 町長

地蔵尊は、仏教固有の教義に基づくものであることから、税金でこれを建立することは、政教分離原則に抵触するおそれがありますので、町が屋根を設置する考えはないところです。

### 選挙投票率の向上対策について

Q

第 50 回衆議院議員選挙の投票率が県内市町村でワースト 3 となっていますが、投票率向上の対策は検討されていますか。

A 選挙管理委員会書記長

本町の投票率は 46.64% で、県内投票率 50.61% と比較し 3.97% と低く、市町村別では下位より 3 番目に低い結果となっています。

選挙管理委員会では、投票率の向上を図るため、新聞折り込み、広報活動による選挙ムードの啓発、期日前出張所の開設、期間限定のくいまーバス無料運行等を実施したところです。

若い世代に選挙への関心を高めるため、年間行事となっています「わけもんの主張」の動画を録画し都城管内の高等学校に配布できるようにしています。

Q

町内投票所の投票率はどのようであったか。

A 選挙管理委員会書記長

町内には 11 の投票所を設けており、第 4 投票所 54.63%、第 5 投票所の 53.61% が高く、最も低かったのは第 6 投票所 42.51%、次に第 11 投票所の 42.57% となっており、9 投票所が県内投票率を下回っています。

一般質問  
「そこが聞きたい!」

Q

子育て支援  
「3つの無償化」は



かみ にし まさ こ  
上西 雅子議員

(福祉課長)

A 町独自で行うことは現状困難

### 子育て支援政策について

Q

本年冒頭、新春のあいさつにて町長が「子育て支援プロジェクト」と称し、「3つの無償化」を打ち出しました。内容は①三歳未満時の保育料無償化、②小中学校の給食費の無償化、③高校生までの医療費無償化です。

現在①の保育料については、第 1 子のみ無償化、第 2 子は 2 分の 1 の負担となっています。都市との差があり比較される事から、全面的に無償化して欲しいとの要望が聞かれます。

複数人の子どもを産み育てても、安心して住み続けられるよう、保育料を無償化する事が必要ではないでしょうか。

A 福祉課長

近年全国の自治体で、大きな自治体と小さな自治体で格差が生じています。同じ生活圏の住民には、同じ住民サービスが提供されることが望ましいと思いますが、町の財政状況からして、第 2 子までの保育料無償化は容易ではありません。

今後は、子育て支援策の地域格差が起きないように、保育料無償化について国が統一して取り組むよう要望していきます。

Q

持病を持つ子どもの親等から、医療費無償化の対象を高校生まで引き上げて欲しい、との声が聞かれます。

子どもの医療費を無償化することで、潜んでいる病気の早期発見・早期治療により、治りにくい病気も治る可能性が高くなります。

また、悩みやストレスが多い高校生が心身に異常を感じた時に、医療にかかるハードルを下げることで、思春期のメンタルヘルスにもつながります。

「3つの無償化」のうち③「高校生までの医療費

無償化」についても、早期実現が必要だと思いますが、意見を伺えますか。

A 福祉課長

医療費助成を高校生まで拡充する為には、概算で 2 千万円が必要であると試算しており、これを一般財源で賄うことは現状難しいと考えています。今後、子ども医療費の助成対象を引き上げるよう、国や県に対し要望をしていきます。

### 教職員の働き方改革について

Q

全国的にも学校教職員の時間外労働が問題となっています。「スクールサポートスタッフ」のような教師の業務を補助する職員体制は充実しているのでしょうか。

A 教育長

本町では独自の取り組みとして、平成 29 年から 12 学級以上の小中学校に、スクールサポートスタッフを 1 名ずつ配置しています。またその役割を、南九州大学の学生にも担ってもらっています。年間の授業日数等、学校内の業務や配置日数等を勘案すると充足しており、教職員の時間外勤務削減の効果的な要因にもなっています。

今後も、多様なスタッフが学校の教育活動に参画する取組を支援し、教師と連携を図りながら、学校教育活動の充実と働き方改革を進めていきたいと考えます。





楠原 更三議員



公共施設名に三島通庸公の名を

一般質問「そこが聞きたい!」

(町長)

A 個人崇拝はいかがなものか

郷土愛を育成することについて

Q 三島通庸公を、町の基礎を築き教育の振興にも尽力したと町は評価しています。また、三島公にはたくさんの高い外部評価があります。

三股町と他の自治体とを区別するため、そして郷土愛を育成するために、延岡市の野口遵記念館、宮崎市のSOKKENスタジアムなどのように、三島公の名を冠した公共施設を持つことは考えられないでしょうか。

A 教育長

そのことに関しては、町がどのような基準を設けるかという点がまずは出発点だと考えますが、現時点では、個人名を冠することは考えていません。

A 町長

三股の基礎を創ったのは、三島公だと思いますが、野崎重則氏や宮田盛儀氏など今日の三股の発展の基礎を創ったたくさんの人がいます。一人に絞って三島公を崇拝するというのはいかがなものかと思っています。

Q 3年後に西南戦争から150年の節目を迎えます。町内にある関連史跡整備はできないですか。

A 教育課長

県の埋蔵文化財センターが県内関連遺跡について現在調査中です。三股町では蓼池にあったとされる弾薬製造局を調べたいとのことでした。遺跡が確認されれば、整備を検討することは可能と考えます。

Q 早馬公園内にこの度整備された園路は、様々な記念碑等に人を誘導しやすくなりました。郷土史に触れる機会の提供として、記念碑の説明版を設置できませんか。また、町内の定期的な史跡巡り

はできませんか。

A 教育課長

両方ともに、今後の検討課題とします。



三股開拓之碑

サイクリングコース選定について

Q これまでに町民の知見を基にして作成された「前目んマップ」や「さるかんね」などを参考としようとするような、課を横断した話し合いはあったのでしょうか。

A 企画商工課長

庁内関係部署との協議を行いました。徒歩で楽しむ「さるかんね」などと、サイクリングマップとは趣旨が違うと考えているので、参考にはしていません。

産学官連携について

Q 交流拠点開発を通して、全国各地で地域づくりなどに取り組んでいる丸善雄松堂との関係が始まりました。今後の産学官連携について、どのような予定がありますか。

また、ふるさと納税返礼品開発で、他の自治体では学官連携が見られますが、話題性や関係者を増やすためにも本町での連携は考えられませんか。

A 企画商工課長

丸善雄松堂と連携協定は結んでいませんが、この関係は今後も大事にしていきたいと思っています。返礼品開発での学官連携の予定はありませんが、今後検討したいと考えています。

一般質問「そこが聞きたい!」



交流拠点施設の進捗状況は



中原 美穂議員

(企画商工課長)

A 公募に向けて関係機関と調整中

交流拠点施設整備事業について

Q 交流拠点施設の進捗状況はどのようになっているのでしょうか。特に、第6セクターPFI事業の実施方針が公表されましたが、その後の展開について伺います。

A 企画商工課長

本年6月に「三股町交流拠点施設整備事業 第6セクターPFI事業実施方針」を公表し、8月23日に事業範囲の変更など一部を修正し、町が本事業に求める「プロジェクトマネジメント業務」、「企画・設計・工事監理業務」、「建設・施工管理業務」、「維持管理業務」、「運営業務」それぞれに関する基本方針、業務内容などを記載した「要求水準書」を公表し、現在は公募に向けて関係機関と調整を行っているところです。

Q 予算を運用するにあたり、計画に沿わない出費が発生した場合、町としてどのように対応するのでしょうか。

A 町長

今の時点で予想しうる様々なリスクについて町側とSPCとの間で分担するリスクを定めた「リスク分担表」を、要求水準書とともに公表し、リスク分担表に定めのない事案などが事業期間中に発生した場合には、その都度協議し決めていくことになると考えています。

PTAについて

Q 保護者と教職員の任意団体であるPTAの予算と、教育課の予算は別会計であると認識していますが、使用用途の違いについて伺います。

A 教育課長

教育課で学校に関することで予算化しているものは、学校の管理運営・教育活動に要する費用、

学校施設整備・維持管理、光熱水費等の管理運営に必要な経費等です。

PTAの予算につきましては、PTA主催行事や活動に係る経費、運営に係る経費、慶弔費、児童生徒活動奨励費などがあります。

スポーツ振興について

Q 三股町として今後どのようなスポーツ振興策を検討されているのでしょうか。特に、宮崎県としてプロスポーツ団体の誘客に努めていますが、三股町の目指す関わり(誘致を検討する競技)など町の特性を活かした具体的な構想や計画があれば聞かせて下さい。

A 教育課長

本町では、アマチュアスポーツの合宿の誘致を進めており、現在も旭ヶ丘運動公園で野球や陸上競技、武道体育館等で剣道やバドミントン等の合宿を行っております。また、剣道や弓道の大会等も開催されており、県内外から多くの参加があります。

本町では、プロ仕様の整備は計画にありませんが、施設の改修をしながらの現有施設の利用を促進してまいります。



武道体育館



いわつ 岩津 良議員



学校図書館の蔵書充足率は

一般質問「そこが聞きたい!」

(教育長)

A 全国平均は上回っている

### 学校図書・読書について

Q 学校図書館の蔵書充足率の水準は。

A 教育長

学校図書館図書標準は、文科省が平成5年に、公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書冊数の標準を、学級数に応じて定めたものです。

本町の各小・中学校の達成状況についてですが、小学校で平均77.8%、中学校は100.2%となっております。

中学校については、図書標準を達成しており、小学校では、達成してはおりません。しかしながら、小学校の達成率は全国平均を上回っており、高い水準にあるものと判断しております。

Q 読書教育についてはどのような取り組みをしていますか。

A 教育長

学校司書や司書教諭等の教職員との連携を図りながら、学校図書館の運営等を行っているところです。

さらに、各小・中学校と町立図書館が連携を図り、学級に町立図書館貸し出しの図書を置き、児童生徒が本に親しむ環境整備を行っているところです。

### 移住・定住政策について

Q 町外から転入された移住者の推移は。

A 町長

町単独の事業として「過疎地域定住奨励金」があり、学校区を指定し、町内外から移住された方

を対象に奨励金を交付し、町外から転入されたのは、平成29年度から今年度まで合わせて62世帯となりました。

Q これまでの、定住奨励金等の他に、移住施策の検討はされないのですか。

A 企画商工課長

町単独以外に国・県補助がある移住支援金も活用していますが、現状のメニュー以外に検討はしていません。

Q 町長は人口減少を緩やかにしていくと、人口減少対策の中で述べていましたが、具体的な政策内容は。

A 町長

子育て支援に力を入れていく中で、3つの無償化を掲げています。なかなか実現が難しい部分もありますが、ふるさと納税の充実を図っていきたいと思います。

三股町から転出しないように、また若い人がとどまるようにやっていきたいと思っています。

### Wi-Fi整備について

Q 観光促進・災害・タブレット自学習等々の為に町内のWi-Fi整備は進められないのですか。

A 企画商工課長

災害時などに避難所を開設した際に無料開放するWi-Fiスポットとしては、昨年度までに合計15施設の整備が完了しています。

また、平常時でも使用できるものとしては、町立図書館に設置しています。

観光促進のための整備については、長田峡や上米公園などの案がありましたが、県の観光施策も勘案し、費用対効果の面から断念をしたところ です。

一般質問「そこが聞きたい!」



上米公園遊具の修繕及び更新計画は



にしむら なおひこ 西村 尚彦議員

(都市整備課長)

A 修繕は今年度中 更新は来年度予定

### 都市公園の整備状況は

Q 町内の都市公園の整備状況はどうなっていますか。

A 町長

町内の都市公園は19カ所あり、運動公園の旭ヶ丘運動公園、総合公園である上米公園、そして近隣公園である早馬公園などがあります。昭和51年に上米公園など6カ所が整備され、48年経過しています。住民一人当たりの都市公園面積は、県平均と同じ約19㎡となっております。

### 遊具の設置状況は

Q 設置してある遊具の種類や基数、特にコンビネーション遊具・大型遊具の設置場所、経過年数はどうなっていますか。

A 都市整備課長

19カ所の都市公園にすべり台、ブランコ、シーソーなどの単一遊具や、複合遊具(コンビネーション遊具)合わせて90基あります。

複合遊具(コンビネーション遊具)は、旭ヶ丘運動公園は1基、43年経過、上米公園は大型1基23年経過、小型1基7年経過、木製1基22年経過、蓼池公園は1基33年経過、新馬場公園は1基39年経過、五本松児童公園は1基21年経過、前目公園は1基23年経過、植木公園は今年10月22日に更新しております。

### 遊具の保守点検の状況は

Q どのような点検を行っていますか。また費用はどれくらいかかりますか。

A 都市整備課長

日常点検と定期点検があり、日常点検は職員が目視等により、亀裂や破損の確認を年3回実施

しています。定期点検は専門業者が鋼材の劣化やロープの摩耗状況などを年1回実施しています。費用は定期点検に約70万円ほどかかります。

### 上米公園遊具の使用状況、修繕・更新計画は

Q 現在、上米公園遊具の使用状況はどのようになっていますか。

A 都市整備課長

大型のコンビネーション遊具、木製のコンビネーション遊具、ローラースライダーが使用できなくなっております。



使用禁止の遊具(上米公園)

Q 使用できない遊具は今後どうなりますか。

A 都市整備課長

大型のコンビネーション遊具、木製のコンビネーション遊具は令和6年度中に使用できるようになります。(※現在は使用できます)

ローラースライダーは令和7年度に更新する計画です。



# どうする？ 議員のなり手不足！

vol  
1

## 「質問事項」

- ①現在の議会及び議員活動についてどうお考えですか。また、皆さんに議会及び議員活動を知ってもらうためには、何が重要だと思いますか。
- ②「議員のなり手不足」解消のために何が重要だと思いますか。

## 四股のふし

12月議会最終日、「議会・議員活動の豊富化、議員報酬の適正化に関する特別議決」が全会一致で決されました。（詳しくは3ページに掲載）今後、更なる議会改革を進め、議会の活動内容を充実し、住民の理解を得て、議員報酬の適正化に向けて取り組みます。

今号より、町民の皆様から左記の質問事項についてご意見をいただき、この特別議決を実現するための参考にさせていただきたいと思っております。



ひろ せ 吉弘氏

- ①傍聴に行ったことがありますが、非常に勉強になると感じました。しかし、普段は町がどんな施策をしているかわからないし、議員の皆さんがどういう議論をされているのかもわかりません。もっと興味を持つべきだと感じます。やはり、議会の様子をケーブルテレビやYouTubeなどで配信する必要があると思います。
- ②第一に報酬だと思います。私の感覚でいくと、現在の議員報酬20万円代は少ないと感じます。年収500万円位は必要だと思います。責任もって議員活動に没頭でき、またほかに仕事を持ちながらではなく、議員活動のみに専属してもらいたいと思います。  
それだけの報酬であれば、議員の発言に対して「おかしい」という私たちの立場で意見も言えます。



ふくやま 陽子氏

- ①現在は、議会広報でしか議会の活動を知るすべがなく、議会以外の議員の皆さんの活動は見えません。出来れば、年に2回ぐらいで議会・議員の活動報告会をして欲しいです。また、議員の皆さんが立候補した時の選挙公約の達成度なども報告してほしいと思います。
- ②町民のみなさん、特に若い人たちが、町の魅力をどうすれば高めることができるのか、またどこに町の魅力があるのかを知るための討論の場を設けてほしいです。そういう場が多くなると、町づくりについて意識が高まり、自分で議員になり取り組んでみたいという人が出てくるのではと思います。なり手不足の具体的な即効的な案はありませんが、町民の繋がり、コミュニケーションの場が必要だと思います。

## 編集後記

2025年、新年最初の議会だよりとなります。

昨年は、元日に能登半島での大地震、次いで8月にこの南九州でも大地震と大型台風が相次ぎ、町内の農地や用水路なども大きい被害に遭うなどしました。振り返れば、大変な1年だったように思います。議会でもその都度、執行部と共に災害対応について議論をして参りました。

これからも引き続き町の災害対策について、よりきめ細かくより強固にしていけるよう議論を進めていく必要があると思います。  
 (上西)